

## 東アジア文化論講読Ⅰ

2 単位 (選択) 2 年 (前期)  
有馬 卓也・教授 / 人間文化学科

**【授業目的】** 中国古代の思想・文学関係の基礎文献を講読しながら、中国文化を考えていこうとするものである。漢文を読むための基礎知識を伝えることももちろんだが、メインは文化理解の方に置いている。本年度は中国の不思議小説を集める『太平広記』の中から、巻 131 報応三十と巻 133 報応三十二を読む予定。

**【授業概要】** 小説からさぐる思想・文化

**【キーワード】** 志怪小説, 伝奇小説, 中国文化

**【履修上の注意】** 演習の形式をとるので、全員が担当することを前提とする。したがって、最高 25 名を限度としたい。最初に出席者の担当を決め、発表当日までに予習チェックを行うことを義務づける (授業の時、誤読の訂正の為に時間を浪費することをさけるため)。

**【到達目標】** 漢文 (白文) に対する基礎理解 (慣れ) と、中国文化の理解を通して、人間の普遍的な理解を試み得る目を持つこと。

**【授業計画】**

1. 巻 131 報応三十と巻 133 報応三十二は因果応報にまつわる怪奇現象譚を 26 話と 22 話掲載する。本年度は報応三十のすべてと、報応三十二の一部を読む予定である。
2. 毎回 3 話程度を読んでいく。

**【成績評価】** 演習形式で行うので、出席点と担当の出来具合を総合して評価する。出席は一回につき 3 点。担当の出席は 100 点から出席点 (授業回数 × 3) を引いた数字が満点となる。欠席する場合、あらかじめ連絡を入れること。連絡があった場合の欠席と無断欠席とでは評価が異なるので注意。詳細は第一回目の講義の時に連絡する。

**【再試験】** 行わない

**【教科書】** 特に教科書・参考書として指定するものはないが、以下の文献は授業理解の手助けとなろう。竹田晃『搜神記』(平凡社・東洋文庫), 今村与志雄『唐宋伝奇集 (上下)』(岩波文庫), 陳舜臣『ものがたり唐代伝奇』(朝日文庫), 今村与志雄『酉陽雜俎 (1~5)』(平凡社・東洋文庫)

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218956>

**【連絡先】**

⇒ 有馬 (088-656-7119, [arima@ias.tokushima-u.ac.jp](mailto:arima@ias.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (オフィスアワー: 随時)